

令和元年度 北海道体育学会 第2回役員会

■日時：令和元年8月18日（日）14：00～16：00

■会場：北海道教育大学 サテライトキャンパス 教室1
札幌市中央区北5条西5丁目7 sapporo55 4階

・会長挨拶

神林勲会長から挨拶があった。

・議事署名人（ 関朋昭 ， 中島寿宏 ）

・出席者：神林勲（会長）、山本理人（副会長）、石澤伸弘（理事長）、関朋昭、森田憲輝、井出幸二郎、永谷稔、瀧澤一騎、高瀬淳也、山口太一、小出高義、多賀健、塚本未来（会計）、中島寿宏（幹事）、木本理可（幹事）、志手典之（オブザーバー）

■協議事項

1. 第59回学会大会要項（案）について

関大会委員長より、令和元年度の北海道体育学会大会要項について説明があり、今年度からの変更点として、申込先（congress@hspehss.jp）の変更、会費の事前振込口座の開設、プログラムの紙媒体での送付をしないことが確認された。大会参加・発表申込の締切日および大会プログラムに関する記載内容等の修正について確認後、承認された。また、役員会については前日の12/13（金）に行う方向で進めたい旨の提案があった。

2. 第60回記念大会の開催地について

多賀大会委員より、大会会場の見積り等について説明があり、金額および日程の関係で新さっぽろアークシティホテルに依頼することが承認された。なお、日程については、各大学の入試日程等を確認した上で次回役員会において決定することが確認された。

3. 北海道体育学研究投稿規定の変更について

永谷編集委員長より、投稿先および原稿データの提出方法について変更を考えている旨の説明があり、次回の役員会で提案されることが確認された。

4. 各種委員会より

特になし

5. その他

中島幹事より、印刷依頼会社の変更について提案があり、承認された。

■報告事項

1. 日本体育学会関係報告

志手代議員より、日本体育学会定時社員総会ならびに地域連絡会議について報告があった。主な内容としては、事務所の住所・学会名称（日本体育・スポーツ・健康学会）・目的の改正については承認され、事業の変更については否決されたこと、体育学研究の冊子体が廃止

されること、今後の学会大会（全国）の主管校の決定方法がこれまでの地域ブロック輪番制を廃止し一定の条件を備えた拠点校方式を採用し、大会運営に関する主管校業務を大幅に軽減する本部・理事会主導型運営に移行すること、2019 年度地域協力学会助成金の一般配分額等について報告された。

2. 事務局から

石澤理事長より、将来構想 WG を組織した旨の報告があり、中島先生（札教大）、奥田先生（岩教大）、瀧澤先生（身体開発研究機構）、山口先生（酪農学園大）、塚本先生（東海大）が就任し、次回役員会までに打ち合わせが行われることが確認された。

4. 各種委員会（研究，編集，大会，広報）より

1) 研究

特になし

2) 編集

永谷編集委員長より、北海道体育学研究第 54 巻の審査状況について、18 編の論文投稿があり、現在「掲載可」が 5 編、「審査継続」が 12 編、「不受理」が 1 編となっている旨の報告があった。

3) 大会

特になし

4) 広報

特になし

■その他

- ・山本副会長より、2022 年度日本体育科教育学会の全国大会が北海道で開催される予定であるとの報告があり、開催に向けて協力の依頼があった。
- ・次回の役員会を 10 月 20 日（日）に開催することが確認された。

以上